

# 郡上農林事務所の普及活動状況

平成 30 年 8 月 31 日現在

## 今月の重点活動

### ■青年農業士 若手農業者の交流会を開催

8月17日、郡上地区青年農業士連絡協議会の主催により若手農業者交流会が開催された。この交流会には青年農業士が若手農業者、新規就農者に呼びかけ、指導農業士や農林事務所長他担当職員なども含めて20名が参加し、経営視察として会員の花きハウスを見学したのち、交流会を開催した。昨年に引続き2度目の開催となったが、品目や地域を越えた若手農業者の交流の場とすることができた。

今回の交流会に対して農業普及課では、企画から参加への呼びかけまで全面的に支援した。秋には、他地域の青年農業士会との交流会も計画されており、今後も活動を支援していく。



【青年農業士の花き見学】

## 多様な担い手づくり

### ■アグリインターンシップ だいこん・花農家にて農作業を体験

8月3～9日、大学生を対象としたアグリインターンシップを実施し、大学生3名が参加した。

インターンシップでは、だいこん・花農家において4日間の農作業体験のほか、JAめぐみの郡上トマトの学校研修生との交流や直売所見学などを行った。

農作業体験では、だいこんの出荷調製作業や花の管理作業などを行い、参加した大学生からは、「農業の大変さや工夫している点分かった」「花栽培の全体的なイメージがつかめた」などの感想があった。また、新規就農を目指している研修生との交流では「農業を始める方法が分かった」との意見も出された。

参加者の中には、農家になりたい、農業をやりたいという意思を持った学生もおり、農業の現場を知ってもらい良い機会となった。

農業普及課では、今後も新たな就農者確保に向けて、必要な支援を行っていく。



【出荷作業を行う大学生】

## 売れるブランドづくり

### ■夏秋イチゴ・ユリ・トルコギキョウ 温暖化に対応した高温対策試験を実施

郡上市高鷲町では夏期の冷涼な気候特性を活かした施設園芸が盛んである。しかし、近年温暖化の影響で盛夏期には想定を上回る暑さに見舞われ、良質な園芸品目を生産する事が困難になってきている。

そこで、農業普及課では産地と一体となり、赤外線の特異的に反射する機能性フィルムを施設の天井に展開した場合の遮熱効果について試験を実施している。

現在まで、ハウス内温度を最大で3～5℃程下げ、今年の様な記録的猛暑でも安定した効果を発揮することが実証できた。

農業普及課では今後も試験を継続し、生産性・経済性を検討し、現地普及を図っていく。



【ハウス内の温度測定】

## ■ 水稲 若手稲作農家が米のブランド化に向けたワークショップを開催

8月9日と21日に郡上市内の若手稲作農家と関係機関職員が集まり郡上産米のブランド化に向けたワークショップを開催した。郡上市内では農業法人・個別農家・生産組合がそれぞれ独自の名称を付け、美味しい地場産米として販売を行っているが、郡上市全体が美味しい米の生産地である事をPRするため、郡上産米ブランド化研究会の呼びかけによりワークショップを開催した。

当日は、若手稲作農家4名が米作りの面白さや悩み事を共有すると共に、郡上産米の宣伝方法について語り合った。

農業普及課は、ワークショップの開催にあたり若手稲作農家への参加呼びかけ、郡上市・JA等関係機関との調整、当日の司会進行などを行った。今後もワークショップを継続して開催し、郡上産米のブランド化に向けた支援を続けていく。



【ワークショップ風景】